

平成 29 年度決算の概要について

学校法人稲置学園の財務状況について、資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表により報告します。

【資金収支計算書】

収入全体では、付随事業・収益事業収入、受取利息・配当金収入以外の各項目において予算額を上回る収入となった。補助金については、私立大学経常費補助金において補助金算定率及び、定員充足率に係る圧縮率の変更に伴う補助額の増、施設型給付費補助事業費の取得が増額の大きな要因となっている。前受金収入については、納付金関連の前受金増による増収となっている。資金収入の総計としては、約 12,012,658 千円となっており、学生生徒等納付金収入から雑収入までの収入合計で見ても、予算額に比べ約 111,562 千円の収入増となった。

支出全体では、人件費支出、教育研究経費支出、管理経費において実施事業の見直しによる経費の抑制等により予算を下回ることとなった。人件費については、教員・職員非常勤 その他手当実績減となっている。教育研究経費・管理経費については、全体的に支出を抑えた結果となっている。消耗品費、奨学金（対象者減）、報酬・委託手数料、広報費等が特に大きく予算を下回っている。

施設・設備関係支出全体においては、土地購入、AVC 環境統合整備等、車両購入が行われている。なお、資産運用支出については、収入、支出の両建て及び利金の組入れに伴い増額となっている。その結果、単年度資金収支において、約 390,536 千円の収入超過となった。

【事業活動収支計算書】

教育活動収支においては、予算額に比べ収入で約 112,004 千円の増、支出で約 147,188 千円の減となっており、収支は約 639,609 千円(予算比:約 259,193 千円の増)となっている。支出全体では、基本的に資金収支同様の動きを見せているが、減価償却額において施設設備新規取得に伴って、教育研究経費と管理経費に差異が発生している。

教育活動外収支においては、その他の受取利息・配当金の減収により、収支は約 36,951 千円(予算比:約 2,479 千円の減)となっている。

特別収支においては、予算額に比べ収入約 2,643 千円の増、支出で約 6,997 千円の増となっており、収支は約 7,388 千円(予算比:約 4,354 千円の増)となっている。

その結果、経常収支差額では、約 676,560 千円(予算比:約 256,713 千円の増)、基本金組入前当年度収支差額は、約 669,171 千円(予算比:約 302,359 千円の増)となった。

基本金組入額は、当期の除却等で基本金対象資産の減少があるものの、土地購入、両幼稚園園庭整備等の増加があったため、約 533,401 千円の組入を行っている。

当年度収支差額については、約 135,769 千円(予算比:約 345,148 千円の収支改善)となった。

翌年度繰越収支差額については、約△1,825,936 千円となった。

【貸借対照表】

資産の部においては、約 625,049 千円の増となった。固定資産の有形固定資産の部では、土地の取得、星稜幼稚園園庭大型遊具購入、車両購入が計上されている。特定資産については、資産運用方針に基づき組入が行われている。その他の固定資産では、有価証券の償還により減となっている。

負債の部においては、借入金返済の減に伴い約 44,122 千円の減となった。なお、負債額の総資産に占める割合は、8.4%となり、前年度に比べ0.4%減少した。

基本金については、本年度第1号基本金に約 429,022 千円、第2号基本金に 100,000 千円の組入れを行い増加となった。

翌年度繰越収支差額は、約 140,148 千円減少することとなった。